学校番号　30

仁賀保高等学校　中期ビジョン（５か年計画）

令和３年６月策定
令和５年６月一部改訂

学校の現状や課題

1 生徒の安全・安心と学習権の確保を軸とした対応
2 地域社会との連携強化
3 情報メディア科の充実
4 キャリア教育の充実
5 特別活動の活性化

にかほ市との地域連携協定　（平成31年1月15日締結）
　地域貢献、地域の活力向上、地域課題の解決に向け、「自分たちのまちの未来を、楽しく面白く」していくためのアイデアを形にする取組

学校を取り巻く将来の状況の予測

少子化

地域全体の中学生数（令和３年度比）
令和7年度生は▲５５人、令和９~10年は▲約120人

↓

秋田・山形の県境に位置する本校にとっては深刻な事態となる。

ICTの急速な進展

コロナ禍を背景とする学校現場におけるICT化の急速な進展

↓

情報メディア科を有する本校には、ICTスキルの高い職員が指導に携わっており、情報メディア科をアピールする好機となる。

スクール・ポリシー

目指す学校像

　本校は、校歌の一節にある「世の光なる人たらむ」の教育理念のもと、地域に根ざした高校として、地域の文化、自然、産業などを探究する活動を通して、郷土を愛する精神を養い、地域社会に貢献できる人材を育成します。また、秋田県に唯一の情報系学科を有する学校として、情報分野における先進的な学びを通して、新しい時代の担い手となるデジタル人材の育成を目指します。

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

　予測困難な未来を、勇気をもって力強く生き抜く力と、社会に貢献して幸せに生きる力を身に付けた生徒。
（１）郷土を愛し、地域社会に貢献する志をもつ生徒。
（２）新しい時代に必要とされる知識と技能を習得し、未来を支えていく生徒。

カリキュラム・ポリシー　（本校の学び）

【ふるさと教育】各教科において地域理解に向けた学習内容を扱うとともに、にかほ市との連携協定を軸に、地域貢献活動や地域協働学習を積極的に行います。
【デジタル教育】情報メディア科及び普通科デジタル探究コースでは、豊富な情報関連の教育資源を活用し、新たな価値を創造するデジタル教育を推進します。
【探究型学習】身の回りの諸課題の解決に向けて主体的に行動できるよう、各教科及び総合的な探究の時間（デジタル探究）では問題解決学習に取り組みます。
【キャリア教育】変化する社会に柔軟に対応する力を身に付けるとともに、希望する進路を実現できるよう「個」を伸ばし、「個」に応じた教育を行います。

アドミッション・ポリシー　（求める生徒像）

　何事にも主体的かつ協働的に取り組み、その経験を深めていこうとする意欲のある生徒。
　体育的・文化的活動に意欲的に取り組んできた生徒で、高校入学後も部活動や生徒会活動等と学業を両立させる意思をもつ生徒。
【普　　通　　科】基礎学力・基本的生活習慣が身に付いており、進路目標達成のために努力をする意思をもつ生徒。
【情報メディア科】基礎学力・基本的生活習慣が身に付いており、専門性を生かした進路目標達成のために努力をする意思をもつ生徒。

５年間を通しての具体的目標

1　生徒が安心して学び、保護者が安心して学ばせることができる環境をより一層整える
2　地域の方々が期待し、応援したくなる教育活動の実現を目指す
3　仁賀保高校受検生の増加につながるよう、生徒自身が充実感と魅力を感じる教育実践を行う
4　生徒が夢や目標を見いだし、かなえようと努力することができる環境をより一層整える

具体的な方法、取組等

1　生徒が安心して学び、保護者が安心して学ばせることができる環境をより一層整える

（1） 生徒、保護者の思いや目線を大切にした日頃のコミュニケーションや教育活動の充実
（2）安全・安心を第一とした教育活動の充実
（3）生徒会などを通じて生徒の声を吸い上げた学校環境の整備の充実
（4）デジタルとアナログのベストミックスを追求した広報活動の充実

2　地域の方々が期待し、応援したくなる教育活動の実現を目指す

（1）地域連携協定を生かした地域社会との関わり（地域行事、伝統芸能等への参加）
（2）地域と連携した防災活動の実施
（3）地域小中学校への教育支援活動の推進
（4）挨拶やマナー、モラルの指導の推進

3　仁賀保高校受検生の増加につながるよう、生徒自身が充実感と魅力を感じる教育実践を行う

（1） 仁賀保高校の取組内容について、社会への積極的な発信
（2）中学生や地域からの仁賀保高校に対する期待・要望の傾聴

4　生徒が夢や目標を見いだし、かなえようと努力することができる環境をより一層整える

（1）授業の改善
①積極的なICTの活用　②目標やねらいを明確にした授業実践
③ユニバーサルデザインの視点を生かした授業構築
④深い学びの達成を目指す授業の実践　⑤ICTを活用した在宅学習

（2）キャリア教育の更なる充実
①総合的な探究委員会を中心とした組織的なキャリア教育の実践
②全体計画等を意識した各教科・科目の年間指導計画や教育課程
③生徒が主体的に自らの学びを考えることを意図したアラカルト方式の教育課程
④カリキュラム・マネジメントによる地域教育資源との有機的連携

（3）情報メディア科の充実
①進学・就職双方に対応する指導　②最新機材の整備
③先端の職業現場や学びに触れる地域企業や教育機関との連携
④魅力ある授業コンテンツ（ドローン操作習得、インターネット番組制作など）

（4）普通科の充実
①進学・就職双方に対応する指導　②地域探究の充実
③オリジナル教材を活用した英会話教育や情報メディア科目の履修

（5）生徒会活動、部活動の充実
①生徒の主体性を尊重した部活動編成
②生徒の責任ある意見・要望が尊重、反映される学校運営

（6）自己と他者を大切にする「こころ」の育成
①日常的な挨拶指導　②生徒に考えさせる問いかけ

（7）教育活動の充実をめざす校務分掌組織の改編

秋田県立仁賀保高等学校

「世の光なる人たらむ」

教育目標　校訓「自立・克己・友愛」の精神を培いながら、生徒と教職員の信頼関係を深め、生徒一人一人を心豊かに育み、その個性と能力を伸ばす

経営方針

1　安心して学び、学ばせることができる環境整備
2　地域の方が期待し、応援したくなる教育活動の実現
3　生徒自身が充実感と魅力を感じる教育実践
4　生徒自身が夢や目標を見付け、努力できる環境の充実

目指す教員像

1　ワークライフバランスを意識し、自らの仕事にやりがいを感じる教職員
2　地域連携を生かした学習活動に携わることで、課題解決学習の指導経験を積み、学び続ける教職員
3　効果的な ICT の活用方法を模索し、積極的に取り組む教職員

学校の使命

■ 地域に貢献できる人材の育成
■ 新しい時代の担い手となるデジタル人材の育成

本校の特色

にかほ市との
地域連携

県内唯一の
情報系学科

カリキュラム・ポリシー《本校の学び（指導の重点）》

ふるさと教育
郷土を愛する精神を養う

デジタル教育
新たな価値を創造するためのデジタル技術を身に付ける

探究型学習
課題解決にむけて主体的に行動する力を身に付ける

キャリア教育
社会に柔軟に対応する力を身に付ける

具体的な教育活動・取組

徳力	基本的な生活習慣の確立を図り、自立と自律ができる徳力を育てる指導
知力	学ぶ喜びを喚起させ、基礎・基本の定着と進路目標に結び付く知力を育てる指導
体力	部活動や生徒会活動、地域との協働事業に積極的に参加させることで自己実現を図り、健康な心身を育てる指導
ICT	Society5.0 を支えるデジタル人材を育てる指導

グラデュエーション・ポリシー《目指す生徒像》

・予測困難な未来を、勇気をもって力強く生き抜く生徒
・社会に貢献して幸せに生きる生徒